

令和7年度 第2回 蜷塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月23日（水）13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 蜷塚中学校 会議室
- 3 出席議員 川上 玲子、田村 智代、袴田 智恵美、橋本 憲幸、佐々木 知成、
鳥居 大資、山田 谷一、中村 秀樹、野村 賢一、矢野 貴恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 横市 佳音（西部協働センターコミュニティ担当）
- 6 学校支援コーディネーター 橋本 かずよ
- 7 学 校 羽生 和斉（校長）、門名 由佳（教頭）、水野 佳史（CS担当）、
川合 真澄（2年主任）、小谷 留美（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小谷 留美
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、田村委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項 熟議

（1）特色ある学校づくりに向けた取組について

- ① 師事民！未来プロジェクト進捗状況
- ② 語りかけの報告
- ③ 芸術鑑賞会「ようこそ！先輩」
- ④ その他

（2）昨年度の取組からの活動策検討

- ① トークフォークダンスの実施に向けて
- ② 「面接の受け方」講座

12 会議記録

司会の水野から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）特色ある学校づくりに向けた取組について

議長の指示により、特色ある学校づくりに向けた取組について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

① 師事民！未来プロジェクト進捗状況

- ・2年生総合的な学習の時間「師事民！未来プロジェクト」は、地域企業6社の協力をもらいスタートした。「これからも住み続けたいと思える街づくり」を目指す。あまり地域のことを知らないため、課題を見つけて知る活動から関わる活動で解決していく。1年間の活動ではなく、小中で連携させ9年間の学びとして考えている。3年生で発表を予定している。（川合教諭）
- ・生徒のリアクションはどんな感じなのか。小学校の調べ学習で風揚会の支援をし

たが、蜷塚地区は町によって取り組みが違った。地域に興味を持つことは、よいことなので長く続けてもらいたい。(佐々木委員)

- ・分野ごとの情報交換の機会があるのか。グループを途中で変えられるのか。

(山田委員)

- ・今回コーディネートを行ったが、課題が分かっていない状況で企業への説明が難しかった。活動の案内をしてもらい、問題を見つける力を引き出して答えを導くように依頼している。グループを変えることはしない。(鳥居委員)

- ・調べ学習をすると答えを見つけようとするので、ネット情報を自分の意見のようにまとめてしまうことが多い。アドバイザーから、分からない知らないことが多いものだと話してもらい、もっと知ってから意見を述べないと本当の意見ではないと気付くことができた。大人に真剣に動いてもらい、何かを見つけていこうと前向きに取り組んでいる。(川合教諭)

② 語りかけの報告

- ・教師と生徒の相互に理解をして教師と生徒の適切な距離感を保つことをねらいとしている。1・3学期は担任外、2学期は担任が他クラスで話をする。生徒アンケートでは、教師の人間性に関わる話を聞きたいという声が多かった。(羽生校長)

- ・アンケートを生徒ごとにまとめれば進路指導に役立つ。(野村委員)

③ 芸術鑑賞会「ようこそ！先輩」

- ・袴田委員、佐々木委員、川上委員から講師の紹介があった。11/25(火)「ようこそ先輩！コンサート」のトーク内容について事前アンケートをとり、進めていく。(門名教頭)

- ・佐々木委員からの紹介者には来年度依頼をしたい。(羽生校長)

- ・演奏者の二人は、2年前にも天竜中で演奏会をしている。中学校時代に考えていたことや、高校進学について話す予定。(矢野委員)

- ・生徒個人ごとに記録をして、システム化するとよい。(野村委員)

- ・キャリアパスポートに感想を積み上げている。(門名教頭)

④ その他

「SPORTSDAY」

- ・保護者は立見で見学していたが感想はどうだったのか。競技は見やすくて良かった。場所の譲り合いをしていたり、他の子にも声援をしたりしていて感動した。競技の組み合わせはどうやって決めたのか。(山田委員)

- ・来賓席からは、障害物競走が遠くて何をしているのか理解できなかった。説明があれば良かった。(中村委員)

- ・校舎の建て替えで四ツ池公園開催だったが、中学校の運動場がいびつなので、聖星高校や静大運動場の選択など柔軟に対応すればよい。(佐々木委員)

- ・綱引きの事故について詳しく説明をしてほしい。全国的に綱が切れる事故が発生しているが、体育器具室での保管では劣化する。(橋本委員)

- ・十分に点検していても綱は切れるので難しい。皆が、騒がず冷静に対応してい

た。先生たちの動きが早く、十分な対応ができていた。(袴田委員)

- ・少子化のため、四ツ池に大きな予算を組んでまで行く必要はないと思う。保護者も行くのが大変という声が多い。(川上委員)

- ・保護者意見からは、見学の場所に日陰を開放してほしかった。競技の内容と共にプログラムで知らせるとよい。綱は、耐用年数で強制的に交換して対策すれば保護者は納得しやすい。(鳥居委員)

- ・休憩場所が体育館だったけれど、盛り上がっていて使用しなかった。綱引きを簡単にやめるのは味気ない。(矢野委員)

- ・学校開催は大賛成。(山田委員)(川上委員)(鳥居委員)(矢野委員)

- ・応援の場所は生徒を主体にした。(門名教頭)

- ・競技の組み合わせは、ランダムに行った。綱は、練習で使用して不具合は無かったが確認不足だった。当日の救護は、すりむきと打撲の2名。数日後に通院した生徒がいたが、経過は良かった。教育委員会に報告をし、校長会でも話題に出し対応した。来年度に向けて、より良い実施方法を考える。(羽生校長)

「命の講話」

- ・講話を受けて感動した。(山田委員)

- ・教科書に載っていて知っている話で、よく聞いていた。戦争に関する想いを伝えてもらいたかった。(袴田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを了承した。

(2) 具体的な支援策の検討

議長の指示により、昨年度の取組からの改善策検討について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

① トークフォークダンスの実施に向けて

- ・3/10(火)実施予定。参加者募集の協力をお願いしたい。3年生125名で、昨年度よりも人数が増えた。次回、トーク内容の意見を聞きたい。(門名教頭)

- ・参加者のほぼ全員が、楽しく良い時間を過ごせたと言っていた。人数が増えたので頑張って集めることが必要である。(矢野委員)

- ・昨年度、司会の先生と生徒の信頼関係を感じることができた。先生が、生徒の盛り上がりそうな題材を見つけられたらよいのではないか。(袴田委員)

- ・司会は地域の人がやるのか。(田村委員)

- ・自治会へは、早く知らせて協力の依頼をしたほうがよい。回覧板で募るのか。(山田委員)

- ・回覧板で知らせても目につかないので、口コミのほうが集まると思う。(川上委員)

- ・蜷塚地区の住民限定なのか。(中村委員)

- ・3年生の保護者が参加できれば、子供の同世代の様子が知ることができるため範囲を広げてもよいと思う。(野村委員)

- ・司会と人数の割り振りは、次回の議題にしたい。他の地区の方でも参加可能。生徒の保護者はなるべく避けていた。(羽生校長)

② 「面接の受け方」講座

- ・ 1/20 (火)、2/17 (火) 実施予定。8 名程度協力をお願いしたい。(門名教頭)
- ・ 2/17 は小学校で協議会が予定されている。小中で情報交換して、一体感を持ってやってほしい。(佐々木委員)
- ・ 2/17 (火) は、日程を検討する。(門名教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを了承した。

13 報 告 (学校支援 CD より)

- ・ 読み聞かせボランティア 1 学期各学級 1 回 4 名
- ・ 図書ボランティア 1 学期 2 回の活動 11 名

今年度は、父親の参加が初めてあった。

- ・ 調理実習学習支援ボランティア

学校支援コーディネーター 2 名とボランティア 4 名が参加。

- ・ 職業体験 10/7 (火)、8 (水) 実施予定

学校支援コーディネーター 2 名で、夏休み期間に受け入れ事業所を準備する。

その他連絡事項等

- ・ 学校部活動アンケート結果と休日の部活動の地域展開
- ・ 文化発表会 10/30 (木) 14:20～体育館
10/31 (金) 9:30～アクトシティ中ホール
- ・ 司会から、次回会議は、令和 7 年 11 月 20 日 (木) 午後 1 時 30 分から蜷塚中学校
会議室で開催する旨の報告があった。授業参観<30 分程度>を予定。
- ・ 次回議長は袴田委員が務める。